

広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111 [代表]



早く泳げるようになりたいな

学校は長い夏休みに入り、子供たちの日課はプール通いです。休みが短い保育園でもプール遊びは園児の楽しみ。ここ草部南部保育園（野尻須恵子園長、30人）では午前中の約一時間、園内にあるプールで水遊びを楽しんでいます。早く泳げるようにとバタ足や顔を水につける練習、保母にささえてもらって、水に浮く練習をしています。

お も な 内 容

- ☐ 疲労・居眠りにご用心
夏の交通事故防止運動……………(2)
- ☐ 住民の熱意に基金拠出（国労熊本地方本部）……………(3)
- ☐ 初盆を迎えるご家庭……………(4)
- ☐ 高原にマンドリンの音
(はなしのぶコンサート)……………(5)
- ☐ 中央公民館だより……………(7)

火事・救急車は 電話119へ	9月8日 平田医院	9月1日 小林医院	8月25日 立野病院	8月18日 後藤医院	8月11日 渡辺医院
	②0216	②0075	⑧0111	⑦0019	⑦1777

休日
在宅医
診療は午前9時から午後5時まで

人 口

— 6月30日現在 —

8,999人 男…4,363人 女…4,636人
世帯数……………2,597
転入 31 出生 11
転出 27 死亡 6

国鉄高森線を利用しましょう

おめでた おくやみ

S60.6.1～6.30 受付

【出 生】

(住所)	(保護者)	(出生児)	(性別)	(出生年月日)
旭通	荒牧七蔵	蔵人	男	S60.5.27
昭和	安藤秀一	秀陸	〃	5.29
森	岩下光廣	大志	〃	5.30
前原	後藤和光	貴也	〃	5.30
森	田村満博	玲子	女	6.1
下町	浅生敏彦	えみ	〃	6.1
天神	住吉昇	隼	男	6.2
旭通	田辺鶴芳	雄大	〃	6.3
小楠木	西田忠洋	和洋	〃	6.9
菅山	遠山篤雄	まり	女	6.14
昭和	佐藤今朝弘	啓	男	6.15

【死 亡】

(住所)	(遺 族)	(続 柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡年月日)
村山	—	菊地	重治	81	60.6.4
旭通	工藤亮介	母	工藤セキノ	78	6.6
河地	野尻惟通	〃	野尻ツジ	81	6.11
津留	林勝祖	祖母	林トメカ	87	6.19
黒岩	森助郎	父	森至	91	6.22
木郷	黒木豊	母	黒木カ子ノ	89	6.28

【結 婚】

(氏 名)	(住 所)	(婚姻届年月日)
(夫 甲斐幸二 妻 (中山) 良子)	永野原天草郡天草町	S60.5.8
(夫 和田政治 妻 (後藤) り子)	高森昭和高尾野	6.4
(夫 住吉陽雅 妻 (西川) 雅子)	色見井上阿蘇郡長陽村	6.14
(夫 後藤幸安 妻 (岡本) 男代)	河原口河古原畑	6.14
(夫 深浦義幸 妻 (佐藤) 美佐子)	高森横町阿蘇郡蘇陽町	6.18
(夫 田上幸納 妻 (高村) 紀美子)	高森村山阿蘇郡阿蘇町	6.27
(夫 田上昌勝 妻 (堀田) 照代)	高森村山	6.24

山霧は横に流れし峠口
梅雨明けを知らずや蟬の初音かな
句碑そこに根子と向いて白南風や
吹く風に青葉白けき雨近し
夏の日をくまなく浴びて野良仕事
長雨に太陽知らずボビー散る
逝く人や野辺の別れのわか雨
野あさみが野路を覆いて衣をとうす
効くと云ふ土用の丑の日灸据え
戦史読む歯科医の窓に梅雨の雨

後白森 後阿本 後後森 後
藤石 藤部田 藤藤 藤
春政正 タ訓チや政法
風憲六固 ツエ子ェい隆龍

社会福祉協議会
香典返し
野尻・河地の野尻惟通さんから

(母、ツジさん・81歳死去)
河原・黒岩の森助郎さんから
(父、至さん・91歳死去)
高森・上在の荒牧末喜さんから

ありがとうございました

伸びくると毎日に泰のたくましく
西瓜売り信じて太き西瓜買ふ
紫陽花や今日好日の目覚めどき
返事して浴衣干しつゝこち向かず
ひらめきし句を雷鳴に忘れけり
達者かと電話の便りホトミギス
眠る子に母の団扇のゆるやかに
孫訪ね行きし夜店の人形買ふ
奥阿蘇の曲り曲りに月見草
梅雨明けも間近と思ふもつれ蝶

野長熊 草馬草 熊野野 熊
尻友谷 村原村 谷尻谷 紫
里 たつ あつ 鶴起 誓 雲
女 子 代 女 道 だむ

一般寄付
南阿蘇民謡会から、チャリティ
ショーの収益金の一部
高森校区婦人会から、チャリ
ティーパザールの売上金の一部
永野原・小楠木の都福男さん
から、病氣見舞の返礼にかえて

老人クラブ

野尻・河地の野尻惟通さんから
「ふもと会」へ
上色見・前原の後藤大和さん
から「和楽会」へ
高森・上在の荒牧末喜さん
から「城山会」へ
矢津田・高尾野の岩下政義
さんから「矢中会」へ
永野原・小楠木の都福男さん
から「明寿会」へ

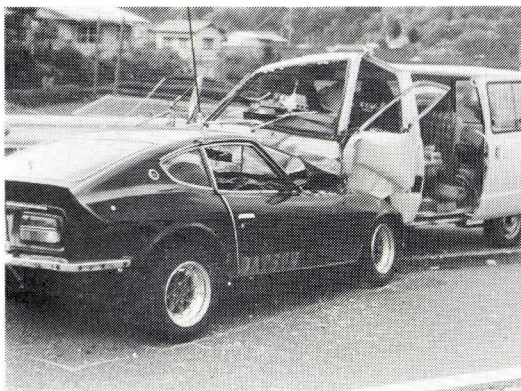
取材に伺います

大坂了也草部南部小学校長から
「草部子ども会」へ金一封
「広報たかもり」に対する意見
や提言、アイデアをお寄せくだ
さい。また身近な出来事や話題も
企画課広報統計係までお知らせく
ださい、取材に伺います。

疲労・居眠りにご用心

夏の交通事故防止運動

7月20日～8月31日



重大事故につながる疲労・居眠り運転

ゆとりをもつて安全運転を

毎年夏は盆休みの帰省、夏休みを利用した長距離のレジャー交通や、暑さによる過労と注意力の低下、さらに休み中の子供、老人の戸外活動が活発になるなどの原因から、交通事故が多く発生しています。

このため、交通安全思想の普及徹底、街頭指導や取り締まりの強化により、痛ましい交通事故を防止しようと、七月二十日から八月三十一日まで、夏の交通事故防止運動が始まりました。

の事故防止運動期間中、千三百二十一件の交通事故が発生、十五人が死亡、千六百八十二人がけがをしました。

運動の重点目標は

- ☆子供の交通事故防止
- ☆二輪車の交通事故防止
- ☆暴走・過労・飲酒など無謀運転の防止
- ☆シートベルト、ヘルメット着用の推進

夏は事故が増えます。とくに過労運転、速度違反、わき見運転による事故が多くなり、さらに二

輪者の死亡、重大事故が多いといった特徴がみられます。

◎子供にはご用心

子供は大人には考えられない行動に出ることがあります。母親が手本を示し、とび出しをしないこと、正しい横断のしかたなどわかりやすく子供に教えてください。運転者は子供を見かけたら除行するなどしてください。

◎暴走・過労運転はしない

海水浴やキャンプなど、レジャーのため必然的に長距離運転とな

九月から道交法改正

ヘルメット着用を義務づける

道路交通法が改正され、シートベルト着用、ヘルメット着用が義務化されることになりました。

ヘルメット着用の義務

六十二年七月五日から

ヘルメットをかぶらないで原付自転車や軽自動車などを運転することが禁止され違反すると一点減点されます。

頭を守るものです。JISマークかSマークのついたものを選びましょう。

シートベルト着用の義務

九月一日から

①現在、高速道路上では「シートベルトの着用を努めなければならぬ」としてありますが、改正では着用を法的に義務化し、違反者は一点減点されます。

り、帰りは疲労が出てきます。余裕のある計画を立て、疲れを感じたら早目に安全な場所に車を止めて休むよう心がけましょう。

スピードの出過ぎや、無謀運転は重大事故につながることを肝に銘じ、法定速度を守り安全運転に心がけてください。

◎夜間は十分な確認を

夜間は催し物や夕涼みなどで外出する人も多く、道路横断中に車にはねられる事故が多発します。運転者は歩行者や自転車の行動を十分確認してください。歩行者も反射材がついたタスキなどを身につけてドライバーに存在を知らせることが必要です。

は一点減点されます。

②一般道路では、シートベルトを着用しないで自動車を運転することが禁止されます。

③全道路で、助手席の人にシートベルト着用させないで自動車を運転することが禁止されます。

騒音を発する走行等の禁止

九月一日から

自動車や原付自転車を運転するとき、急発進、空ぶかし、速度を急に上げるなど正当な理由がないのに著しく他人に迷惑をかける騒音を出すことが禁止されます。違反すると一点減点されます。

中央公民館だより

キャンプを通じ交流

「勤労青少年の日」記念行事

若人のつどいに百六十人

勤労青少年の日の記念行事「85ひのくに働く若人のつどい」(県、熊本県少年室、県勤労青少年福祉連絡協議会主催)が、七月二十、二十一日の両日、南阿蘇国民休暇村オートキャンプ場で開かれ



マキを燃やして料理を作る若者たち

約百六十人が参加、このうち本町からは十九人が参加しました。開会式のあと十一の班に分かれて、キャンプ村入りし、共同生活を過ごして交流しました。飯ごうを使っ

ての夕食の

みんなのスポー

ツ阿蘇南部大会

九月に本町で

阿蘇南部六カ町村教育委員会の共同行事「みんなのスポーツ大会」が今年九月二十九日の日曜日に本町で開かれます。

大会の内容は、親子ソフトボール、バドミントン(夫婦・混合)、ゲートボール、ファミリーハイキング、栄養教室です。

本町ではこのうちファミリーハイキングを目玉行事として、南阿蘇国民休暇村を中心に行います。秋のそよ風の中、野の花とたわむれながら親子・家族・友だちと楽しみませんか。申し込み、問い合わせは中央公民館へどうぞ。九月十日まで受け付けます。

新しい本がそろいました

図書室を自由にお使いください

中央公民館では毎年、図書室の充実を図っており、今年も百八十三冊の本を購入しました。

児童向けには「日本昔話」「世界昔話」、生徒向けには「三銃士」「世界文学全集」「世界ノンフィクション全集」、一般向けとして「ふるさと発見肥後路を行く」「グリーコ・森永事件」「かんころもちの島で」「人はなぜ強くなければならないか」など、多くのジャンルから購入しました。

図書室は皆さんに自由に使用していただくよう、平日は午前九時から午後四時まで、土曜日は午前九時から、正午まで開けています。

また図書室の利用が不便な方のために、移動図書が定期的に町内を巡回しています。

なお、図書室に備えてほしい本がありましたら、中央公民館(☎二一七九二)にご連絡ください。

行事予定

○八月九日 防犯大会「蘇陽町」
○八月十七日 城北地区四半的大会「高森小学校体育館」
○八月十八日 少年剣道招待錬成大会「高森小学校体育館」

肥後狂句

(阿蘇御神火会)

もう大切 銭から先イ頂だこう
貰いばかり 気の毒いなる焼け太り
今が峠 驕る平家の例もある
大音響 アジト教へた如たるミス
大音響 夜中にジャンプしたダンブ
今が峠 さぞ焼香の辛からう
貰いばかり 趣味でがじむるばあつかり
今が峠 危険水位の見えかくれ
大音響 昔し気質の抜けん父
もう大切 貸し家で懲りた居住権

岡本 琴司
田上 黙公子
馬原 馬笑
石田 詩朗
林 不忘
松野 笑声
篠田 凡才
林田 一声
山村 不覚
浦塚 南天

お知らせのページ

山火事予防ポスターと標語募集

林野弘済会

林野弘済会では、山火事予防ポスター原画と標語を募集します。

◎ポスター原画

■応募資格 中学生、高校生
■図柄 山火事の恐ろしさとその防止を強く表現したもの
■用紙 B三版とし、縦長に使用してください

■色彩

制限はありません

■文字

山火事予防の文字を必ず入れてください

■応募方法 作品の裏に学校名、学校所在地、学年、氏名（ふりがな）を記載してください

■締め切り

九月十日

■賞

▼農林水産大臣賞二点
▼文部大臣賞二点
▼消防庁長官賞二点
▼林野庁長官賞二点
▼全国森林組合連合会長賞二点
▼林野弘済会長賞十人
▼佳作数点

◎標語

■内容 山火事の恐ろしさとこれの予防、森林資源の確保などを強く表現したもの

■応募資格 中学生、高校生、一般

今月の支払日

12日(月)
26日(月)

今月の町の支払日は右のとおりで、支払時間は午前九時から、午後三時までです。

■応募方法 郵便はがきに一人一句と住所、郵便番号、電話番号、氏名（学生は学校名、学年、学校所在地、郵便番号、氏名）を書いてください

■締め切り

八月三十一日

■賞

▼林野庁長官・消防庁長官賞一点
▼全国森林組合連合会長賞一点
▼林野弘済会長賞八人
▼佳作数点

■送り先

ポスター原画、標語とも 〒一〇二 東京都文京区後楽一丁目七十一 林友ビル六階 財団法人・林野弘済会

交通事故無料相談のご利用を

日本損害保険協会

社団法人・日本損害保険協会 本自動車保険請求相談センターでは、交通事故の被害者、加害者のため自動車損害賠償責任保険、任

意自動車保険（対人・対物・車両）の請求手続きのほか、事故の解決方法などについて相談に応じています。

◆相談時間

祝祭日を除く毎日午前九時三十分から午後四時四十分まで、ただし土曜日は正午まで（第二土曜日は休み）

◆相談料

無料

◆相談の方法

来訪、電話のいずれも受け付けます

◆場所

熊本市水道町一五―一二 農専ビル六階（白川公園裏） 熊本市自動車保険請求相談センター（電話九六―三五四―三四七七）

増築・改築に住宅改良資金

住宅金融公庫

住宅金融公庫では、増築・改築・修繕工事に必要な住宅改良資金の融資を行っています。

○対象となる工事

▽屋根、雨どい、外壁の修繕

○融資限度額

工事をするため実際に必要とする費用の七割以内で、五十万円から三百五十万円まで

○金利

年利六・〇割

○返済期間

十年以内（元利均等払い）

○問い合わせ先

住宅金融公庫熊

奨学生を募集

サンケイ新聞社

サンケイ新聞社では次の要領で六十一年度の奨学生を募集します。

◆応募資格

京阪神、奈良、和歌山、滋賀の大学、専門（専修・各種）学校、予備校（宅浪も可）へ通学を希望する男子

◆応募方法

願書（奨学会指定）健康診断書、調査書（または成績証明書）各一通を事務局に郵送か持参してください

◆締め切り

九月三十日、十二月二十六日、六十二年二月二十八日、六十一年三月三十一日

◆待遇

月収十二万八千円（奨学金十給料）

◆問い合わせ先

〒五三〇 大阪市北区梅田二丁目四十九 サンケイ新聞奨学会（電話〇六―三四三―一二二） 内線四五七二

住民の熱意に基金拠出

国労熊本地方本部から高森線に

技術協力の申し出も



小早川委員長から拠出金を受け取る瀬井町長

国労熊本地方本部（小早川了介委員長、二千六百人）から南阿蘇鉄道（社長・瀬井町長）に二百五十万円余りの拠出金が贈られ、開業後の鉄道設備保守点検などについて技術協力の申し出がありました。

七月十三日、瀬井町長を訪ねた小早川委員長は「国労では赤字ローカル線の廃止に反対し「国鉄による存続」を訴えていますが、県や企業が経営に参加しないで、沿線町村だけで運営する高森線については、レールは残すという、基本方針の共通点と、住民の熱意に対し、開業後の全般について表やグラフを使って説明しています。

このほか、町花、町木もカラー写真で紹介しました。要覧は、町を訪れた町外の人に本町のようすを知ってもらうために頒布していますが、ご希望の方は企画課広報統計係にお申し出ください。

毎年続く高森線利用

旅行友の会が18年間



熱田神宮で記念撮影する参加者

技術協力など全面的な支援を決めたもので、今回の基金拠出もこの

支援の一つとして行われたもので

新しい町勢要覧でさる

町ではこのほど四年ぶりに町勢要覧を発行しました。新しい要覧はB二版の八つ折りで、両面合わせてB五版十六ページにあたります。

表紙は桜が満開の中坂峠から見

た根子岳のカラー写真。町の沿革、地勢、気象、行政と議会の機構のほか、国勢調査、農林業センサスなどの統計資料を基に、人口、財政、消防、産業経済、建設、保健衛生、福祉、教育など町勢の



新しく発行された町勢要覧

13日~15日
お盆

草部地区

草部

阿南 武勝 父 阿南今朝時
阿南 久幸 妻 阿南ヤス子
黒木 豊 母 黒木カ子ノ

芹口

中村 進 妻 中村ツギエ
甲斐 清 養母 甲斐シズカ

永野原

工藤 安夫 伯母 工藤カネ子
工藤 進二 養父 工藤 正俊
田上 公廣 祖母 古庄マサエ

下切

工藤 光高 母 工藤トシノ

矢津田

本田 伯了 母 本田 春江
本田 正長 父 本田 正照
安藤 良一 母 安藤ツルエ
井上 恵 母 井上ウタエ
岩下 政義 妻 岩下ツヤ子

初盆を迎えるご家庭

祖先の霊を供養するお盆。都会では七月十五日を中心に十三日から十六日までをお盆と呼ぶようですが、本町ではほとんどの家庭が八月十三日の夕方から「お盆」に

はいます。お盆というのは盂蘭盆の略で、さまざまな供え物を盆に盛って、仏や仏弟子を供養し、その功德で衆生の苦しみを救う意味だそう

す。本町で今年初盆を迎えるご家庭は次の六十戸です。お参りする方々の利便を考慮して地域別にまとめました。記載順はご遺族のお名前、続柄、お亡くなりになられた方となっています。

野尻地区

中

二子石 高 叔父 児玉 武朝
矢津田 剛 母 矢津田ギエ
二子石 一蔵 母 二子石トク

津留

赤星 貞雄 養母 赤星 チヨ
瀬井 寅夫 母 瀬井サカエ
小倉 貴好 長男 小倉 智幸

野尻

馬原 一喜 妻 馬原テルヨ
野尻 惟通 母 野尻 ツジ

尾下

甲斐 秀次 母 甲斐マサエ
古寺 清 母 古寺ヨシエ
古澤 スミ子 夫 古澤 巧

河原

後藤 通 父 後藤 一馬
野尻 昭光 父 野尻 節喜

高森地区

村山

熊川 満 母 熊川ケサヨ
森 助郎 父 森 至
鶴林 正昭 父 鶴林 来

上在

中川 市郎 妻 中川トミエ
桐原 郁雄 父 桐原 清保
中川 久雄 母 中川ハナ子

天神

八田 ユク 夫 八田 権三

旭通

橋本 シズ子 夫 橋本 義則
工藤 亮介 母 工藤セキノ
三森 康男 妻 三森トシエ
荒牧 末喜 妻 荒牧 鈴

昭和

岩本 孝雄 父 岩本 計
佐藤 民夫 母 佐藤アサカ
津留 寅一 父 津留 傳

お参りの接待はお茶だけに

お参りするときの御仏前などはローソク、線香代という本来の趣旨にかえり、見えをばらないように。また初盆の接待はお茶だけにしましょう。

社会教育委員会

色見地区

洗川

後藤 恵男 祖母 後藤アサト

大村

宇藤 チャ子 夫 宇藤 與次

前原

後藤 大和 母 後藤チリエ

山鳥

岩下 敏則 父 岩下 友一
この名簿は、七月二十九日現在で作成しました。

高原にマンドリンの音

はなしのぶコンサート

これまで最多の聴衆



大勢の聴衆を魅了したはなしのぶコンサート

上(色)見小(三)年(連)続(優)勝

阿蘇南部地区 こども自転車大会

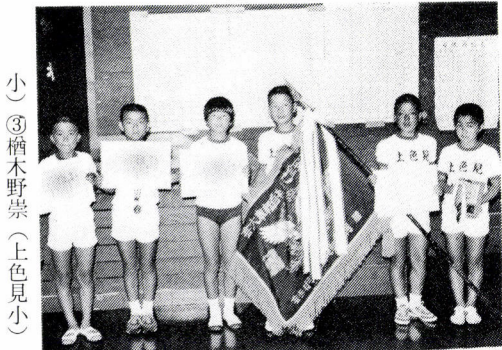
第十三回交通安全こども自転車大会(阿蘇南部地区交通安全協会主催)が、七月九日午前九時から高森小学校体育館で開かれ、上(色)見小学校チームが団体で三年連続優勝しました。交通安全知識を身につけさせ、事故防止を図ろうと毎年開かれているもので、高森町、白水村、久木野村、長陽村から八チームが参加。競技は一チーム四人の学科と技能の総合点を競うもので、技能テストでは信号機や標識にしたがって走るコース、幅三十五センチの板の上を二十秒以上で走るコースやジャグザグに進むスラローム、デコボコ道のコースなどにこれまでの練習の成果を発揮していました。

成績は次のとおりです。

【団体】 ①上(色)見小

②白水小 ③野尻小

【個人】 ①白石保男(上(色)見小)



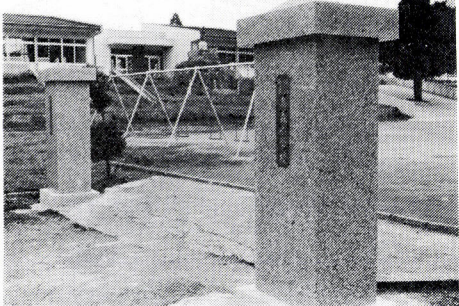
3年連続優勝をした上(色)見小チーム

高森小に門柱が完成

卒業生 還暦記念に贈る

今年還暦を迎えられた、高森横町の後藤幸充さん(五九)、大正十四、十五年生まれの五十二人で作っている「七年会」は還暦記念に、母校の高森小学校に門柱を寄贈されました。この会のメンバーは昭和七年に同校に入学した同級生。二十年前の厄晴記念に南正門のコンクリート製の門柱を改修しましたが、表面にはった大理石がはがれ落ち、基礎が雨水で洗い出されて危険なため建て替えを計画、遠くは千葉、大阪などに住む同級

生も賛同しました。このほど開かれた除幕式には、約三十人が出席、恩師の松井実さん(七六・大津町在住)と山室ツユさん(七三・色見・西丁)も招待されました。式典後は全員が教室で幼い日の授業風景を再現、二人の恩師の授業を受けて、遠い昔をなつかしんでいました。完成した門柱は、縦六十一センチ、横四十五センチ、高さ百六十八センチのカゲ石製の立派なもの、右の柱に高森町立高森小学校、左の柱に昭和六十年六月一日建立の文字が刻まれています。また、門柱のそば



完成した門柱

には建立者の名前を刻んだ、記念碑も建てられています。